

技術士 2次試験に合格して

勤務先

株式会社 キメラ

製造本部 第1課

〒050-0052 室蘭市香川町 24-16

TEL 0143-55-5293 FAX 0143-55-5295

■ 専門：金属部門(金属加工)

大友 浩一

(おおとも こういち)

1. 自己紹介

私は1966年(昭和41年)に室蘭市に生まれました。高校を卒業すると、金属加工の先端技術を学びたく、大学には進学せずに、神奈川県横浜市の、精密金型メーカーに就職しました。

当時(1985年)は、バブル景気の前年であり、金型産業は1兆円産業でありました。金型は『マザーツール』と呼ばれていて、ものづくりには、なくてはならない技術であり、日本の金型技術は、世界の最先端でありました。

精密金型の製作には、1マイクロメートル以下の高精度が要求され、製造工程も多岐にわたり、1つの部品には、さまざまな技術が複合していることから、複合体を意味する、キメラを社名にしています。

私が、就職した頃は、まだ、技術で資格を取ろうとは思ったことがなく、技術士の資格も知りませんでした。勤めていた会社が、3年後に室蘭に進出して自分は5年後に室蘭に戻りました。

ベテラン社員になったころ、先輩として後輩の育成の必要性を感じていました。ちょうどその頃、技術士資格を知り、自身の成長をかねて、技術士取得を決意しました。

2. 1次試験

1次試験は出題範囲が広範囲で、自分が文系だったこともあり、最初のうちは、どこから手をつけてよいかまったくわからず、先が見えないまま、漠然と試験勉強をしていました。1次試験とて超難関でした。数回受験したあと、自分が勉強している、熟処理を試験に生かすには、金属部門のほうがよいのではないのかと考え、専門科目を機械部門から、金属部門に変更して受験しましたところ合格することができました。

3. 2次試験

1次試験に合格して、すぐに2次試験を受験しました。2次試験の勉強は1次試験とは異なり、勉強方法も違うため、また最初から仕切り直しとなりました。そんな中、修習技術者になると、日本技術士会に入会できることを知り、早速入会しました。

日本技術士会には、多くの研究会があるのを知り、技術士になるためには、技術士を知らなければならぬと思ひ、北海道会と金属部会若手技術者の会、(Yes.metals!)に入会しました。

2つの会に参加することにより、出会いがいっぱいありました。先輩技術士の方、1次試験合格同期の方と交流することは、大変刺激になり、自分の2次試験の勉強に大変プラスになりました。

本番の試験では、択一問題で2回連続で通過できずという事態に陥ってしまいました。

過去問頼りで、いかに、自分が勉強していなかったかを痛感しました。そこで、過去問頼りをやめ、不足している専門知識をすべて洗い出してインプットしました。論文問題は、専門応用知識と課題解決が求められるので、まず、専門書、技術論文を調べてインプット、アウトプットして、課題解決問題は、過去問を解く訓練をして、さらに、最新の技術動向を調べて論文に入れ込めるようにインプットしました。試験勉強は長期間に渡るため、モチベーションの維持に苦勞しました。出来るだけ勉強時間を作って頑張った結果、今年合格する事が出来ました。

4. 今後の目標

今後の目標として、総監、複数の部門の取得を考えています。技術士登録をしたら、更にネットワークを広げ、自分の視点を高く持ち、社会に技術で貢献したいと思ひます。